

目 次

はしがき～本書の目的と使い方～

CHAPTER 0	民法総則学習の作法	1
SECTION 1	条文の役割とその構成	1
SECTION 2	法的規範の理解と課題への対処	2
SECTION 3	本書の概要	3
CHAPTER 1	民法の基本原則	5
	——市民社会の基本的な考え方とその制限	
SECTION 1	民法の基本原則	5
SECTION 2	私人の権利行使に対する民法上の要請	8
CHAPTER 2	人——誰が権利を有し義務を負うことができる？	11
SECTION 1	権利能力	11
SECTION 2	失踪宣告	15
SECTION 3	意思能力	19
SECTION 4	制限行為能力者：未成年者・成年後見制度	21
SECTION 5	制限行為能力者の相手方の保護	28
CHAPTER 3	法人	30
	——自然人以外に人として扱われるものがある？	
SECTION 1	法人の意義・設立・機関・消滅	30
SECTION 2	法人の対外的法律関係：法人の能力	35
SECTION 3	法人の対外的法律関係：理事の代表権・法人の不法行為責任	40
SECTION 4	権利能力なき社団	45

CHAPTER 4 物——民法で「物」といわれるのはどのようなもの？ …… 50

CHAPTER 5 法律行為——なぜ法律行為という概念があるの？ …… 55

SECTION 1 法律行為の解釈 55

SECTION 2 法律行為の有効性 57

CHAPTER 6 意思表示——権利義務はどのように生じる？ …… 60

SECTION 1 心裡留保 60

SECTION 2 虚偽表示 66

SECTION 3 94条2項類推適用 71

SECTION 4 錯誤 76

SECTION 5 詐欺・強迫 83

SECTION 6 意思表示の効力発生 89

CHAPTER 7 無効と取消し——似ているようで違うものなの？ …… 92

SECTION 1 無効 92

SECTION 2 取消し 95

CHAPTER 8 代理 …… 97

——誰かが本人に代わって法律行為をすることができる？

SECTION 1 代理権・代理人の行為能力・顕名・代理行為 97

SECTION 2 利益相反行為の禁止、代理権の濫用 101

SECTION 3 無権代理 104

SECTION 4 表見代理 109

CHAPTER 9 条件・期限、期間 …… 113

——契約が成立すればすぐに効果が生じる？

SECTION 1 条件 113

SECTION 2 期限 116

SECTION 3 期間の計算 118

CHAPTER 10 時効——時の経過によって権利が変動する？ …………… 119

SECTION 1	時効総論	119
SECTION 2	取得時効	121
SECTION 3	消滅時効	124
SECTION 4	時効の完成猶予・更新	129
SECTION 5	時効の援用・時効利益の放棄	133

参考文献

索引